

第13回 ユネスコスクール全国大会／ESD研究大会
研究協議会①「ESD推進による令和の日本型学校教育の構築」

持続可能な社会づくりについて
自分の考えをもち，行動する児童の育成
～3つの対話を位置づけた
課題解決活動の工夫を通して～



大牟田市立吉野小学校

はじめに

研究主題

E S Dの視点

学習活動の充実

成果と課題

4年「命つなげる 吉野小 生き生きビオトープ大作戦」

課題

生き物がたくさん集まる
吉野小ビオトープ



草むらエリア



花だんエリア



地域の方に
協力してもらおう

協働活動

主体的な
関わり



水辺エリア



樹木エリア

- ・メダカはどこに？少ないね。
- ・池の周りの生き物はどうか



はじめに

研究主題

ESDの視点

学習活動の充実

成果と課題

地球上の様々な問題

社会の変化



地球温暖化



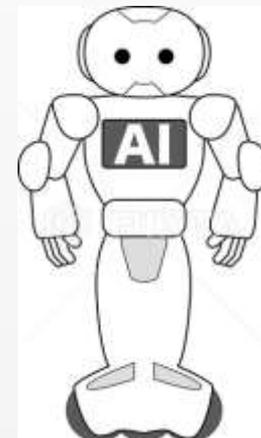
人権・平和



環境破壊



感染症



先行き不透明 予測困難な未来

新学習指導要領前文

持続可能な社会の創り手



研究主題

持続可能な社会づくりについて
自分の考えをもち、行動する児童の育成
～3つの対話を位置づけた
課題解決活動の工夫を通して～



目指す子どもの姿

- 持続可能な社会づくりに関わる課題を自らの課題として捉え、見通しをもつ子ども
- 他者と協働しながら課題の解決に向けて主体的に追究し、自分の考えを構築する子ども
- 自分の考えや思いをつなげたり深めたりして、自分にできることを考え行動する子ども

目的性

追究性

関連性

ESDで目指す能力・態度

- ① 批判的に考える力
 - ② 未来像を予測して計画を立てる力
 - ③ 多面的，総合的に考える力
 - ④ コミュニケーションを行う力
 - ⑤ 他者と協力する態度
 - ⑥ つながりを尊重する態度
 - ⑦ 進んで参加する態度
- ★ 課題を見出す力（本校の実態より）

はじめに

研究主題

E S Dの視点

学習活動の充実

成果と課題

★は重点

新学習指導要領
との関連

目的性

課題を自らの課題として捉え、見通しをもつ

★課題を見出す力

未来を予測して計画を立てる力

批判的に考える力

追究性

他者と協働しながら考えを構成及び再構成する

★多面的・総合的に考える力

★コミュニケーションを行う力

他者と協力する態度

関連性

ひと・もの・ことと自分の関わりを考え、行動する

★つながりを尊重する態度

進んで参加する態度

知識・技能

思考力
判断力
表現力

学びに向かう力
人間性等

はじめに

研究主題

ESDの視点

学習活動の充実

成果と課題

持続可能な社会づくりについて自分の考えをもち、行動する児童

学習活動

深める

対話③ (自己)
学びを
自覚する

つくる

対話② (他者)
考えを
再構成する

つかむ

対話① (教材)
学習の
見通しをもつ

振り返り活動①②③

追究性 関連性
目的性

追究性 関連性
目的性

追究性 関連性
目的性

ESDの視点

- 3つの領域の系統化
- 6つの視点からの教材化
- 教科横断的な学習
 - ・ ESDカレンダー
 - ・ ストーリーマップ
- 地域とのつながり関わり
- SDGsの取組

児童の実態

ESDの視点

3つの領域の系統化

6つの視点からの教材分析

教科横断的な取組

地域との関わり

SDGsの取組

ESDの視点

3つの領域の系統化

吉野のまちへの
愛着の深まり

吉野ハッピータウンプロジェクト

いのち・人権

⑥世界の平和を考えよう

④生き生きピオトープ

③吉野のやさしさ広げ隊

②わくわくするね2年生

①ひとつぶのたねから

高学年
よりよい吉野を

中学年
吉野の一員として

低学年
吉野大好き

環境

⑤守ろう白銀川・隈川

④生き生きピオトープ

③有明海の生き物調べ隊

②はっけん！吉野のまちの
いいところ

①たのしもう あき

①むかしのあそびをたのしもう

②はっけん！吉野のまちのいいところ

③住みよい吉野の町をつくり隊

④これからのわたし

⑤吉野小桜プロジェクト

⑥つなごう吉野・大牟田の宝

郷土・国際理解



多様性

いろいろ
ある

相互性

関わり
合っている

有限性

限りがある

公平性

一人ひとり
大切に

連携性

力を
合わせて

責任性

責任を
持って

多様性

学んだことを他の地域に発信していくことで、他の地域のよさ自分たちの地域のよさを見出す

相互性

桜を通して、地域の方や先輩方の思いに触れ、支えられていることに気づく

有限性

桜の木には寿命があることや学校や地域の桜が老木化していることに気づく

吉野小 桜プロジェクト

公平性

みんなにとって住みやすい町にするために、桜が満開の町を取り戻すための植樹活動を行う

連携性

友達や地域の方の願いの実現に向け、力を合わせて取り組むことができる

責任性

学校・地域の一員として、未来に思いをはせ、自分にできることを見出す

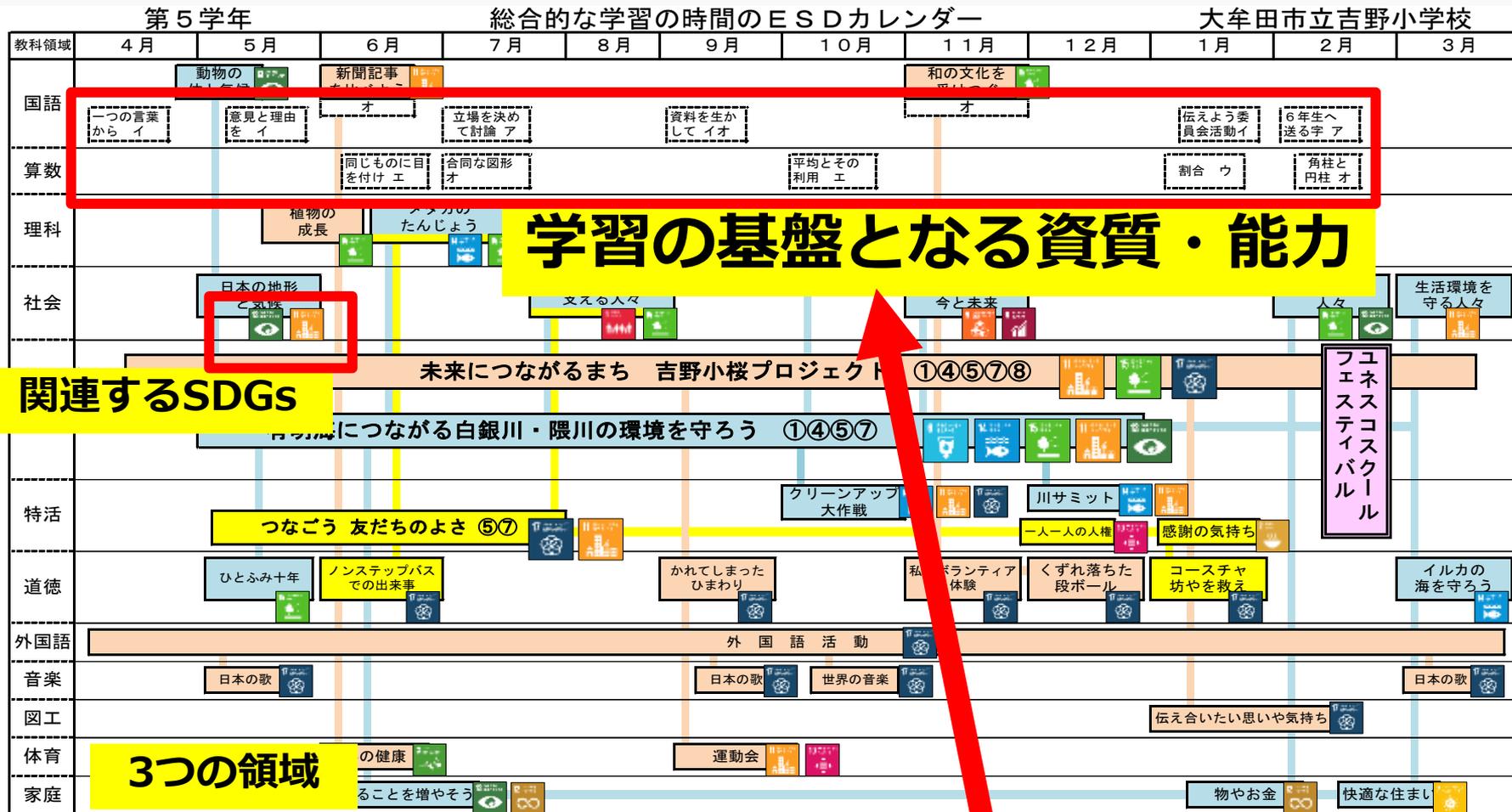
単元で
目指す姿

→重点化・・・教材の価値を明らかに

ESDの視点

教科横断的な取組

ESDカレンダー



学習の基盤となる資質・能力

関連するSDGs

3つの領域

重視する視点	環境 有限性・多様性・責任性	郷土・国際理解 相互性・連携性・責任性	いのち・人権 相互性・公平性・多様性	学習スキル		5年生で目指す能力・態度【重点】 ①課題を見いだす力 ④多面的、総合的に考える力 ⑤コミュニケーションを行う力 ⑦つながりを尊重する態度 ⑧進んで参加する態度
	多様性…いろいろな 有限性…限りがある 連携性…力を合わせて	相互性…関わり合っている 公平性…一人一人大切に 責任性…役割や責任をもって		◆言語能力 ア：話す・聞く イ：書く	◆情報活用能力 ウ：情報の収集 エ：情報の整理 オ：情報の発信	

ストーリーマップ

関連するSDGs



第5学年 有明海につながる白銀川・隈川の環境を守ろう

目指す児童の姿	吉野校区を流れている白銀川や隈川の環境を調査したり、水の汚れの原因を調べる活動を通して、川の環境の変化が自分たちの生活と深く関わっていることを捉え、地域の環境を守るために自分たちができることを考え、進んで行動しようとする事ができる。また、海洋汚染や気候変動などの地球規模の視点から自分たちの行動を捉えることができる。							
身につけさせたい能力・態度	①課題を見出す力	②批判的に考える力	③未来を予測して計画を立てる力	④多面的、総合的に考える力	⑤コミュニケーションを行う力	⑥他者と協力する態度	⑦つながりを尊重する態度	⑧進んで参加する態度 (重点は太字)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	課題設定		ステージ1		ステージ2		発信・振り返り	
総合的な学習の時間	<p>隈川・白銀川の水や生き物を調べよう。</p> <p>1) 昨年度のビオトープの学習を振り返り、身近な隈川や白銀川の水質や生き物について調べたいという思いを持つ。②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープの環境は、生き物の住みよい環境になったけど、地域の川はどうなっているかな。 ・家の人から昔に比べて、魚や生き物が随分減ったと聞いたことがある。 <p>2) 川を探検したり、水質調査をしたりして課題をつかむ。③⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全課の方の話を聞こう。 ・吉野校区の方の話を聞こう。 		<p>川の汚れの原因を調べよう。</p> <p>3) インターネットや資料を用いて、課題解決の情報収集を行う。③⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前は各地で川の水質の問題が起こっていた。 ・人々の努力で以前よりきれいになっている川もあるよ。 ・日本古来の川の生き物は大きく減ってきている。 <p>4) 調べたことを出し合い、川の水質の原因に気付く。①③⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下流の方が水質が悪いのは、家や工場が多いからだね。 ・特に生活排水が川の水質悪化の大きな原因になっているね。 		<p>川を守る活動を考え実践しよう。</p> <p>5) 明らかにした課題をもとに「自分で」「みんなで」できることを話し合う。④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭料の洗濯の学習で習ったことを、家族に伝えて家でも実践しよう。 ・下水道が整備されていない地域への呼びかけを特にならそう。 <p>6) 友達と協力しながら工夫して実践活動に取り組む。⑤⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族にも水の使い方やよりよい洗剤の使い方を伝えて取り組む。 ・川だけでなく道ばたなどにも、ポイ捨てをしないように呼びかける。 ・地域の公民館にポスターを掲示する。 		<p>自分達の思いや願いを発信しよう。</p> <p>7) 自然環境を守るために取り組んできたことを発信する。④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉野公民館に調べたことや取り組んでいることを掲示してもらおう。 ・大牟田市市内の他校と実践交流をし、川も守る運動を大牟田市全体に広げていく。 ・有明海とのつながりから地球規模の課題との関連も考える。 <p>8) 学習のふり返しを行い、自己の成長を実感する。④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからも白銀川や隈川、大牟田の川を自然を守っていこう。 ・地域の人達とも協力していこう。 ・自分達の活動は、地球の自然を守ることに繋がっているんだ。 	

内容面

方法面

【社会】「食料生産を支える人々」【関連：3～5）ア】

・気候の特色や土地を生かした水産業や農業が日本各地で営まれていることに気付き、自然との関わり大切さについて考える。

【社会】「生活環境を守る人々」【関連：8）ア】

・地球には様々な環境問題が起きていることに気付き、環境を守るための様々な取組について考える。

【道徳】「ひとふみ十年」【関連：1）ア】

・自然の不思議さを感じ取り、自然やそこにすむ動植物を大切にす。

【道徳】「イルカの海を守ろう」【関連：8）イ】

・自然のすばらしさを知り、自然や動植物を大切にす。

【行事】「クリーンアップ大作戦」【関連：6）A-A】

・学校周辺のゴミ拾いを通して、地域や自然を大切にしようという思いを深める。

【家庭科】「生活を見つめ、できることをふやそう」【関連：5）イ】

・自然環境を大切に生活の仕方考える。

【行事】「大牟田市・川サミット」【関連：7）ア】

・市内の小学校と取組を交流し、自分たちの取組のよさを確認したり他校の取組のよさを取り入れたりする。

【国語】「書き手の意図を考えながら新聞を読もう」【関連：7～8）ウ】

・新聞を比較したり、効果を明らかにしたりして、書き手の意図を考えながら表現することの大切さを理解する。

【国語】「資料を生かして考えたことを書こう」【関連：8）ウ】

・自分の考えを伝えるために資料を活用して文章を書くことができる。

※関連の視点の表記について

【内容】
 ア…強化（内容理解を深めるもの）
 イ…付加（内容理解を広げるもの）
 【方法】
 ウ…補充（学習スキルに関するもの）
 (例)【関連：5）イ】
 ー第5時における付加的な関連

ESDの視点

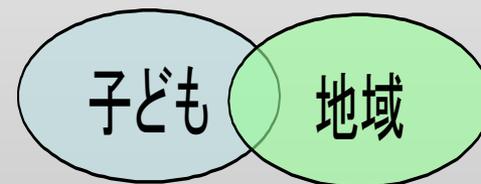
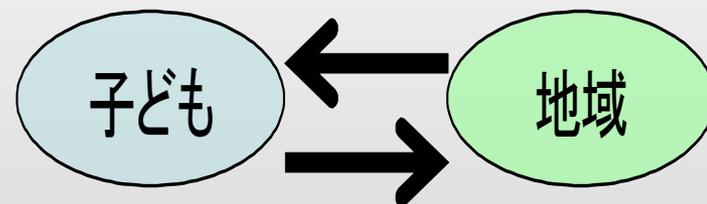
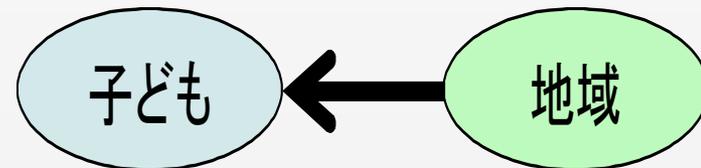
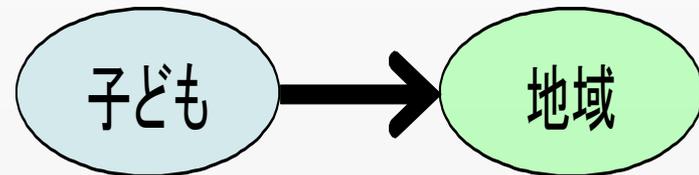
I 子ども達から地域へ

II 地域から子ども達へ

III 子ども達と地域双方向

IV 子ども達と地域の協働

地域との関わり



ESDの視点

地域との関わり

I 子ども達から地域へ



II 地域から子ども達へ



第6学年
「つなごう
吉野・大牟田の宝」

地域に変化を
もたらすことが
できた手応え



行動の原動力

III 子ども達と地域との協働



IV 子ども達と地域の協働



第4学年
「命つなげる 吉野小
生き生きビオトープ大作戦」



第5学年
「吉野小 桜プロジェクト」



ESDの視点

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

ESDの視点

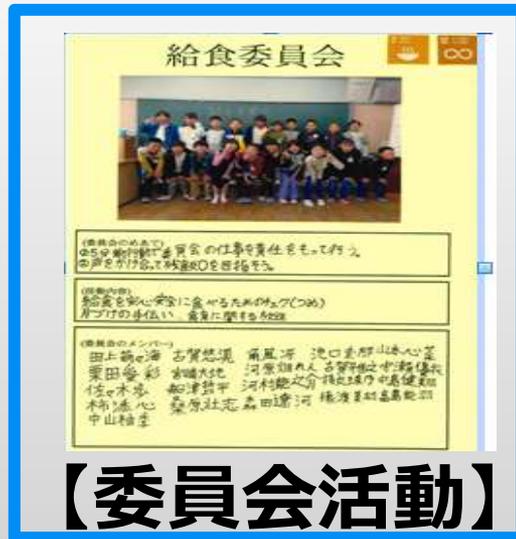
SDGsの取組



【校内掲示版】



【授業場面】



【委員会活動】

学習や活動の意義

明確な目標設定

つかむ段階
対話①（教材）

3つの対話を位置づけた課題解決活動
課題を見出し見通しをもつ段階

～吉野のまちづくりに関わる地域の方との出会い～

地域への
思いや願い



総まち協 会長
近藤さん



地域の方々の思い
を受け継ぎ、吉野
の町をよりよくし
ていきたい

明確な課題

6年生「つなごう吉野・大牟田の宝」

はじめに

研究主題

E S Dの視点

学習活動の充実

成果と課題

つくる段階
対話②(他者)

他者との交流により自分の考えをもつ段階

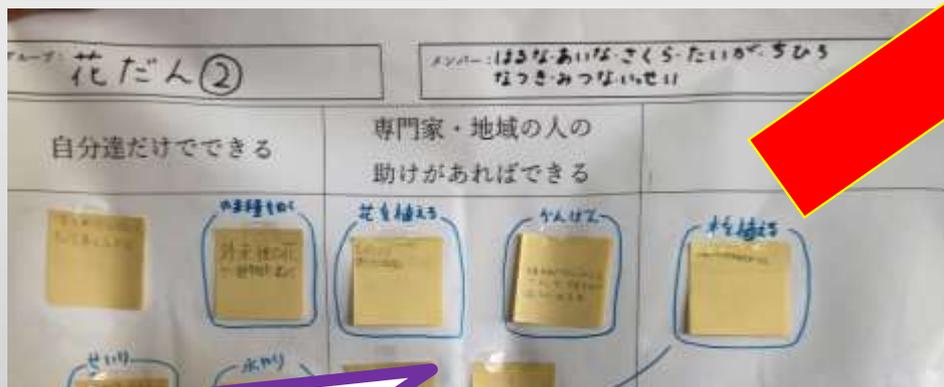


地域の方に相談
してみよう



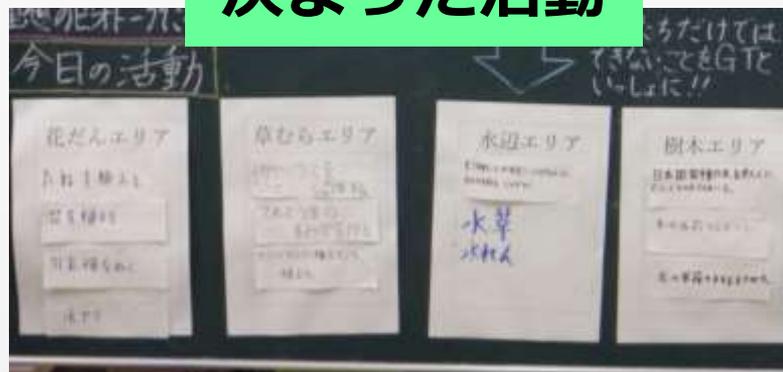
地域の方

付箋を活用して
活動内容を整理



地域の方と活動内容の検討

決まった活動



草むらエリア



花だんエリア



水辺エリア



樹木エリア

4年生

「命つなげる 吉野小
生き生きビオトープ大作戦」

はじめに

研究主題

E S Dの視点

学習活動の充実

成果と課題

深める段階
対話③(自己)

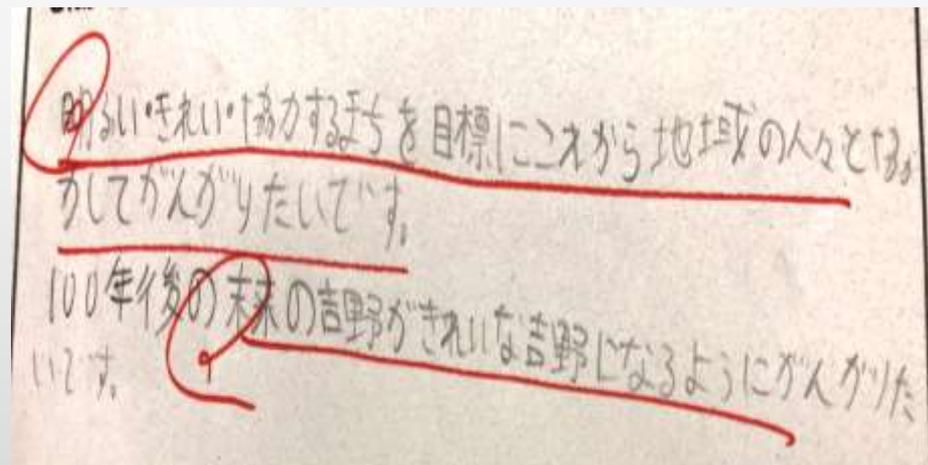
自己の学びを自覚したり行動につなげたりする段階



地域の方の価値付け



桜の周りをきれいにすること
も大切なんだ



学びの高まり

実践意欲

5年生「未来につながるまち 吉野小桜プロジェクト」

成 果

- **地域への愛着を深め、地域へ主体的に関わろうとする子どもたちの態度（地域行事への積極的参加）**
- **教師による生活科・総合的な学習の時間と他教科との関連を意識した学習活動の展開**
- **SDGs達成に向けた子どもたちの実践意欲の向上**

課題

- 交流における考えをもつための手立ての充実
- 学年の系統性を重視した体験活動の精選
- 子どもの実践活動を継続・発展するための学習環境等の整備

「子供の学び」の姿

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる



個別最適な学び
協働的な学び

一体的に充実



主体的・対話的で
深い学び

授業外の学習改善

授業改善

「子供の資質・能力の育成」

個別最適な学び【学習者視点】（＝個に応じた指導【教師視点】）

「子供が自己調整しながら学習を進めていく」

指導の個別化

- ✓ 子供一人一人の特性・学習進度・学習到達度等に応じ、
 - ✓ 教師は必要に応じた重点的な指導や指導方法・教材等の工夫を行う
- 一定の目標を全ての子供が達成することを目指し、異なる方法等で学習を進める



学習の個性化

- ✓ 子供一人一人の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、
 - ✓ 教師は一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会の提供を行う
- 異なる目標に向けて、学習を深め、広げる



協働的な学び

- ✓ 子供一人一人のよい点や可能性を生かし、
 - ✓ 子供同士、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働する
- 異なる考え方が組み合わせさり、よりよい学びを生み出す



文部科学省資料「令和の日本型教育」の構築を目指して（答申）【総論解説】

「学習の個性化」

児童生徒の興味・関心等を
生かした探究的な学習等の充実

「協働的な学び」

児童生徒の個性を生かしながら
社会性を育む教育の充実

ESDとしての探究的な学習の充実による

子供の資質・能力の育成



ご清聴ありがとうございました